

取り組み項目	概要	事例		
		病院名/都道府県	病床数	取り組み内容
医師育成支援	・専門研修施設(基幹または連携)としての認定を受けるとともに、専門研修プログラムの充実(必要症例数の確保やローテーション計画等)を図りながら、専門医を目指す若手医師にとって魅力ある病院を目指す取り組み。 ・民間団体との提携により、当該病院で働きながら臨床研究や海外留学を希望する医師の確保・支援する制度を創設する事例もある。	福島市臨床研修NOWプロジェクト (福島赤十字病院、大原総合病院、わたり病院) 福島県	(以下病院名順) 348床 429床 196床	○医師会主導による福島市内の基幹型臨床研修病院の連携強化、魅力ある臨床研修の促進 ・東日本大震災後の医療復興に向けて若手医療人の育成を図るために実施。 ・福島市内の福島赤十字病院、大原総合病院、わたり病院の連携を強化、3病院での臨床研修を推進。 ・年に2回、3病院の研修医を全員集め、勉強会を実施。 ◆医師会URL: http://www.f-ishikai.jp/now
		静岡県	-	○研修助成で人材確保 ・県内の公的病院に一定期間勤務することを条件として、高度な研修を受ける医師を対象に、研修費用を助成。 ・地域医療の環境と水準の向上、県外からの人材確保を目指す。 ◆静岡県HP: http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-450/igakushougakukin.html
医療内容(診療機能)の見直し	・先進医療や在宅医療、予防医療領域等における全国モデルとなるような取り組みや調査研究事業(医工連携含む)へ参画することにより、医師にとっての魅力ある病院づくりを目指す取り組み。	太田記念病院 群馬県	404床 (内訳:一般400床、感染43床)	○症例数増加に向けて、救急を充実 ・幅広い症例を扱えると若手医師に人気の救急を充実。 ・新築移転と共に救急医3名を迎え、救命救急センターをオープン。 ◆記事(病院経営事例集) URL: https://hpcase.jp/interview/oota-kinen1/
		滝川市、砂川市、美唄市の3つの市立病院 北海道	-	○産科医を砂川市立病院に集約させ、医療機能を充実 ・出産、入院治療、時間外救急対応、研修や高度な医療の実施が可能になった。 ・産科勤務医の労働条件の改善。 ◆記事(内閣府)URL: https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/priority/tenken/k_3/19html/s_5_2.html
医師業務負担の軽減	・医師にとって負担が重いとされる診断書や意見書作成、オーダリングシステムや電子カルテ入力等の事務作業に対する医師事務作業補助者の配置。 ・医師が担っている検査手順や入院に関する説明、診療行為(薬剤投与量の調節や指導等)について、院内の多職種連携によって業務分担する取り組み。 ・救急外来患者数が多く、夜間においても昼間帯と同程度の診療を提供する必要がある診療科に対する医師の交代制勤務の導入。 ・短時間正規雇医師や非常勤医師の外来診療、当直等への活用。※女性医師の短時間雇用 ・初診の選定療養費の増額や初診患者の診療を主目的とした外来診療の規模縮小。	市立伊丹病院 兵庫県	414床 (内訳:一般414床)	○当直勤務を夜間勤務に変更 ・当直扱いであった時間帯を夜間勤務とし、医師が翌日休めるよう勤務形態を変更。 ・医師への負担軽減により、6年間で14人の医師が増加。 ◆病院HP URL: http://www.hosp.itami.hyogo.jp/
		済生会栗橋病院 埼玉県	329床 (内訳:一般325床、感染4床)	○医師事務作業補助者導入の取組 ・医療秘書導入後、医師からは「時間外や休日に書類を作成したことで時間外労働時間も減り、業務が楽になった」等の声が挙がった。 ・時間外労働時間や時間外手当も減少。 ◆記事(厚生労働省)
給与制度の見直し	・初任給調整手当の見直し ※公立病院において、民間病院との給与格差を是正するために支給する手当 ・特殊勤務手当の新設や見直し ※分娩取扱手当や救急勤務医手当、心臓カテーテル手当、透析手当等、病院特性に応じた手当が存在する。	東京都	-	○医師及び歯科医師の初任給調整手当の見直し ・公衆衛生医師の安定的な人材確保を図るため、国や他団体の動向を踏まえた見直し。
		市立長浜病院 滋賀県	600床 (内訳:一般496床、療養104床)	○産婦人科医に2種類の特殊勤務手当支給 ・体制強化のため、条例を改正。産婦人科医に対し、1日5,000円、さらに分娩1件当たり3,000円、2種類の特殊勤務手当を支給。 ◆記事(内閣府)URL: http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/priority/tenken/k_3/19html/s_5_2.html
奨学金制度	・将来、自院の医師として勤務する意志のある医学生に対して、修学に必要な奨学金を貸与し、医師免許取得後に自院に勤務してもらおう制度。 ・「卒業後、直ちに当該病院で2年間の臨床研修を開始して、それを修了した場合」や「2年間の臨床研修修了後、引き続き当該病院医師として勤務した場合」等に対して、奨学金の返還を免除する仕組みを設けることもある。	尾鷲総合病院 三重県	265床 (内訳:一般199床、療養66床)	○尾鷲市から、尾鷲総合病院の産婦人科医に奨学金(補助金)を支給 ・5年以上の勤務が見込まれる産婦人科医に対して、500万円を上限に奨学金(補助金)を支給。 ◆記事(内閣府)URL: http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/priority/tenken/k_3/19html/s_5_2.html
		千葉県	-	○千葉県型修学資金貸与制度 ・県内に附属病院を有する都内の医科大学に負担金を支払い、大学側は、卒後千葉県内の自治体病院で勤務を希望する、医学部入学者に修学資金を貸与。9年(小児科、産科なら7年)の勤務で返還免除。 ◆千葉県HP: https://www.pref.chiba.lg.jp/iryuu/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html
		橋本市民病院 和歌山県	300床 (内訳:一般294床、感染6床)	○大リーガー医育成プロジェクト ・海外留学支援のノウハウを持つ日米医学医療交流財団の支援を受けて、「米国等にレジデント留学を希望する医師」を募集・助成。 ・留学費最大1,500万円の負担、病院で3年間勤務をする代わりに3年間の留学を認可等。 ◆病院HP: https://www.hashimoto-hsp.jp/news/majorleaguerdoc.html

取組み項目	概要	事例		
		病院名/都道府県	病床数	取組み内容
大学医局への 依頼・寄付講座の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・医師を派遣している大学に寄付講座(外部から委託された資金をもとに、開設講座を組織し、研究活動)を設けることで安定的に医師を確保する取組み。 ※ ここでは医師を派遣している大学に寄附を行い、大学が地域医療に関する研究を行う過程で、教育研究活動の一環として病院等へ医師を派遣するシステムを意味。 	有田市立病院 和歌山県	157床 (内訳:一般108床、 地域包括ケア45 床、感染症4床)	<ul style="list-style-type: none"> ○和歌山県立医科大学病院が医師を公募・派遣 ・市立病院を和歌山県立医科大学の「サテライト施設」と位置付け、全国公募した医師2人を医大教員として派遣。 ・有田市議会は、和歌山県立医科大学が公募する医師2人の5年分の人件費や研究費などとして、計1億3千万円(年度限度額2600万円)の債務負担行為などを盛り込んだ一般会計補正予算を可決した。 ◆病院HP URL : http://www.aridahp.arida.wakayama.jp/
		宮城県	-	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関のネットワークに関する研究を行い、その成果を県の医師確保対策に還元し、効率的な医師配置に結びつけるべく、県からの寄附により、東北大学院医学系研究科に講座を設置。 ◆記事(内閣府)URL : https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/priority/tenken/k_3/19html/s_5_2.html
医師紹介・スカウト会社の 利用	<ul style="list-style-type: none"> ・転職を希望する医師の紹介を受けるのみならず、医師の転職市場のトレンド把握や優秀な医師を招聘するためのノウハウを得ることも含めた医師紹介会社との連携。 ・高い診療技術やマネジメント能力のある中堅・ベテラン医師を招聘するためのスカウト会社の活用。 ・医師紹介会社等の連携窓口としての医師招聘企画室の設置や医師採用担当者の配置。 	静岡県立総合病院 静岡県立こども病院 静岡県	(以下病院名順) 712床 279床	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院で常勤医師を増員・確保した後、ローテーションで公的医療機関に医師を派遣 ・静岡県立総合病院では引き続き常勤医師を募集中。静岡県立こども病院では2名採用済み。 ・静岡県立こども病院から小児科の維持が困難となっている袋井市民病院に週3日医師を派遣。 ◆記事(内閣府)URL : http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/priority/tenken/k_3/19html/s_5_2.html
		美幌町立国民健康保険病院 北海道	99床 (内訳:一般99床)	<ul style="list-style-type: none"> ○民間で提供している医師専用のスカウト型求人サイトを使用 ・医師が登録しているプロフィールや希望条件を踏まえて、希望にどこまで応える事が出来るかをメールでスカウトを送信。 ・見学に来てもらうことを第一優先で考え、病院側で見学の旅費や日当を負担。 ・見学に来た医師には、町長や院長が食事でもてなすほか、医師に時間があれば、摩周湖や硫黄山などを案内。 ◆記事(病院経営事例集)URL : https://hpcase.jp/interview/bihoro1/
HPなどによる公募	<ul style="list-style-type: none"> ・医師向けのオリジナルパンフレットの制作や採用ホームページの開設による情報発信。 ※ 医師向けの情報発信にあつては、「自院の強みと働くメリット」を明確に伝える(「ブランディング」と呼ばれる取組み)必要がある。 	民間病院	-	<ul style="list-style-type: none"> ○プロモーション動画の作成 ・経営者からヒヤリングをし、組織が抱える問題、長所、短所を整理した上で、差別化を図る。 ・Webを使うことで、面接に来る医師の母数を増やすことができる。
ライフスタイルアピール	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務地について、「東京から新幹線で2時間ちょっと。観光資源豊富な黒姫で地域医療に貢献し、自然を楽しむライフスタイルを実現しませんか?」といった観光名所であることのアピール。 ・臨床研修先として若い医師が週2日の研究日を活用し、働きながら学べることやリタイア後には自治体所有の別荘地を廉価で紹介できるといった、年齢・ライフステージに応じた様々な働き方まで提案することもある。 	信濃町立信越病院 長野県	106床 (内訳:一般56床、 療養50床)	<ul style="list-style-type: none"> ○医師が働きたくなる病院像(給与・諸条件、医療内容、ライフスタイル)に合わせてHPの全面改定を実施。 【給与・諸条件】 ・常勤医師には土日の休日に加え、週2日の研究日を設ける。 ・非常勤医師には旅費を町で負担し、勤務する前日には町の負担で町内のホテル、ペンションに宿泊できるものとし、「給与」以外の「条件」をアピール。 【医療内容】 ・国に先駆けて、在宅医療、訪問リハビリ、訪問栄養指導、在宅服薬指導、高齢者サービス連絡会、健康管理、予防医療等を実施していた事をアピール。 【ライフスタイル】 ・北信五岳(妙高山、黒姫山等)に囲まれ、野尻湖でのウォータースポーツやバスフィッシング、黒姫高原・斑尾・妙高のスキーなど一年を通して楽しめる環境をアピール。 ◆病院HP URL : http://shin-etsu-hsp.jp/recruit/index.html